

図書館へ行こう！ ~Library Information~

【開館時間】

火～金：午前9時～午後6時
土・日：午前9時～午後5時
休館日：毎週月曜日、毎月末日、祝日、年末年始

問合せ先：阿蘇図書館 Tel：32-0067
一の宮図書館 Tel：22-2916

10月27日～11月9日は読書週間です。
秋の夜長…読書でゆっくりと過ごしてみませんか？

図書館今月の新刊

児童書



おばけとしょかん

著者：デイヴィット・メリング
訳：山口生

ある夜、ボーが魔女の話を読んでいると、明かりが消えてあやしい影が！本と一っしょに空にとびだし、ついたところは「おばけとしょかん」。いったいここは、なんなの!?



クリスマスの幽霊

作：ロバート・ウェストール
絵：ジョン・ロレンス

1930年代のイギリスの小さな町を舞台に、男の子の冒険と、父と息子の絆を描いた、心に残るクリスマスの物語。作者ウェストール自身の子どもの時代の回想記を併録。

一般書



東京奇譚集

著者：村上春樹

奇譚(きたん)。それは、不思議な、あやしい、ありそうにない話。しかしどこか、あなたの近くで起こっているかもしれない物語。『新潮』掲載に書き下し1篇を加えた小説集。



9.11生死を分けた102分 破壊する超高層ビル内部からの驚くべき証言

著者：ジム・ドワイヤー
ケヴィン・フリン

世界貿易センタービルは21世紀のタイタニック号だった…。最初の飛行機が激突してから2棟目のビルが倒壊するまでの102分間を、126人の死者を含む352人の証言・通信記録等を基に克明に描いた感動のドキュメント。



リンさんの小さな子

著者：フリップ・クローデル
訳：高橋 啓

戦争で家族を失い、故国を追われた老人リンさんは、生まれてまもない赤ん坊を抱いて難民となった…。現代に生きる人々の魂をシンプルに描く、言語の壁を越えた友情と共感のドラマ。



ご飯の底力

賢く作ると、なるほどおいしい!

集英社

ご飯は食生活の原点であり、大切なエネルギー源。なかでも玄米や発芽玄米、雑穀類は豊富な栄養素に加えておいしく、体にやさしいと評判。ご飯料理のバリエーション200点を紹介、玄米・米・雑穀ご飯の炊き方も収録。全力カロリーつき。

～心和ます阿蘇の風景～

紅葉の美しいスポット紹介

隼鷹天満宮(的石)



紅葉の葉が幾重にも重なり、お宮の湧水池にくっきり映る。紅葉が倍に見え、湧水の波紋とともに浮かび上がる水面の赤はまさに秋の芸術品。場所は的石地区、御茶屋跡(小系邸)横。

隼鷹天満宮は肥後藩主細川綱利公(1661〜)が参勤交代のため船で東上の折、海上で天候が悪化し、激しい波に船が吞まれようとした時、一羽の白鷹が船柱に飛んで来た。すると静穏となり、無事渡航できた。藩主はその夜旅の宿で霊鷹は的石天満宮の現化との神論を夢見、京都で社殿を建立。隼鷹天満宮にある絵馬は享保元年(1716年)国主が奉納し、また神殿鶴の額は天保13年(1842年)細川斉護公が奉納したものである。